

令和5年度 第1回 男女平等推進市民会議 会議要録

日 時：令和5年5月18日（木）18:30～19:30

場 所：東久留米市役所庁議室

参加者：名取 はにわ会長・本田 純副会長・林 恭子委員・鶴岡 増夫委員・若林 弘子委員・田島 学委員・山本 桂子委員・切 刀 隆委員

事務局：市民部長・生活文化課長・男女共同参画係長・男女共同参画係員

○議題

・議題（1）諮問書の交付

～市長より会長へ諮問書を交付する～

・議題（2）東久留米市第3次男女平等推進プランの進捗状況評価について（令和4年度事業）

会 長：事務局より説明を。

事 務 局：資料2にあるように、進捗状況評価の進め方については、案として、例年のおり分野別に3つのワーキンググループ（以下WG）に分かれ、6月中旬から7月上旬にかけて評価作業を行い、全体の会議、ヒアリングを経て10月下旬に答申をいただくという流れで考えている。WGのグループ分けについては、事務局案を作成したので、資料3で確認をお願いしたい。

会 長：この説明に対して特にご意見等なければ、案のおりに進めていきたい。

～了承～

～WGグループ分け（以下のとおり）～

第1WG(目標Ⅰ～Ⅲ)：名取会長(リーダー)、鶴岡委員、若林委員

第2WG(目標Ⅳ)：林委員(リーダー)、田島委員、切刀委員

第3WG(目標Ⅴ～Ⅵ)：本田副会長(リーダー)、山本委員、小堀委員

・議題（3）その他

会 長：事務局より何かあればどうぞ。

事 務 局：今年度より第4次男女平等推進プランが始まったということで、現在の進捗状況について説明をしたい。第4次プランでは担当課とのヒアリングを盛り込んでおり、現在3分の2程度実施したところである。各課1時間程度の時間を割いて、前年度の市民会議における評価や第4次プランにおける各課の役割などを直接担当者に伝えた。各課に進捗状況の報告を求める前のタイミングで、より各課担当者に理解を深めてもらうことを期待して行ったものである。また、この機会を捉えて、審議会委員の女性比率向上に向けての説明や事業連携の促

進、男女共同参画出前事業の活用提案なども行った。これとは別件の報告として、近隣市の男女平等推進センターや男女共同参画施策担当部署との交流の機会を作っていきたいと考えており、先日東村山市と清瀬市へ訪問し担当者との情報交換や施設見学などを行ったところである。小平市や西東京市とも連絡を取っており、7月を目途に各市の担当で今後の連携などを話し合う機会を持つ予定である。

- 会 長：せっかくの機会なので質問やご意見のある方はどうぞ。
- 委 員：男女共同参画情報誌「ときめき」に掲載された職員アンケートは大変興味深かった。市民として、職員の声を聞く機会は無かったので、生の声を聞けたのは良かった。
- 委 員：民間企業でも好事例の共有は有効だと感じているが、今回話題に上がった近隣市との交流の話はどんなきっかけがあったのか。
- 事 務 局：以前より、「近隣市との交流の機会があると良いのではないか」とのご提案が名取会長からもあったため、1月に行われた都内26市の男女平等参画施策担当者連絡会の場で提案し、このような動きとなった。
- 委 員：進捗状況評価については、報告書の書き方によって評価が変わってくるため、各課への指導もお願いしたい。話は変わるが、生理や性欲など、男女が本質的に持っている身体の機能の差から差別や配慮などが生まれていると思うが、そこを取り払って平等にすることが果たして良いことなのか、私個人としては、今年はそういうことを考えていきたいと思っている。
- 委 員：行政の現場にいた頃、女性に限らず、生活に苦しんでいる方々と日々接している中で、何とかそういう人たちの目線で見たいと考えていた。上野千鶴子氏が大学の入学式の祝辞の中で「あなたはあなたのままで、弱いままで、それでも尊厳が保たれる世界が理想ではないか」という言葉を述べ、心に残っている。そういう視点を忘れずに活動ができればと思っている。
- 委 員：東久留米市で女性管理職が少ないのは、意識が低いのか、それとも環境が無いのかと考えていたが、「ときめき」の職員アンケートを読んで、男性も女性も昇進を「望まない」という方が多いのを目の当たりにして、時代を感じた。
- 委 員：職員の立場で参加して、今年度で3年目となった。プランには子ども家庭部で所管している事業も多くあり、市の男女平等推進施策が進んでいくように努力していきたい。
- 委 員：新しいプランが絵に描いた餅とならないように、しっかりと評価していき、さらにパワーアップしていきたいと考えている。世の中まだまだ女性蔑視や男尊女卑がまかり通っているが、昨年度の中学校における混合名簿導入のように少しずつ変えていければと思う。
- 会 長：東久留米市では20年以上前に男女共同参画都市宣言を行っている。LGBTQ当事者の方も起草委員の中に入っており、大変素晴らしい宣言であると思っている。

る。20年経った今でも先進的なものであると誇りに思うし、先人達の意識の高さを改めて感じる。今年度の評価もそれに恥じる事が無いようにしっかりと進めていきたいと考えている。

会 長：その他に事務局からあればどうぞ。

事 務 局：昨年度、ときめき編集委員と男女平等推進センター運営協議会委員の間で交流会兼研修会を開いたが、市民会議の方々とも交流していきたいという意見が出たため、次回は声を掛けさせていただきたい。

○次回会議（ワーキンググループ）